

2009. 7. 13

第2回 今後の看護教員のあり方に関する検討会

福岡県看護教員養成講習会の実施における 現状と課題

福岡県保健医療介護部医療指導課看護指導係

実施状況

- 昭和45年度より毎年、単独で実施
(企画・運営:福岡県)
- 開催期間 : 8ヶ月間
- 教育時間数: 960時間
(* 実施要領 900時間以上)
- 受講定員: 45名 (当初より県外受講者受け入れ)
- 受講料 : 15万円 (平成19年度まで67, 000円)
* 受講料は県外受講者も同額
- 専任教育担当者を講習期間中1名配置
* 専任教員経験者で幹部看護教員養成課程修了
* 現国立病院機構看護部長経験者

何故、講習会を継続しているか

専任教員の退職者が多く、教員養成講習会未受講者数は減少しない

**県内看護師等養成所 35校45課程 専任教員371名
(平成21年4月)**

受講者に占める県内平均受講者数 24.2名

平成17～21年度

専任教員 191名退職(年間平均退職者数 38.2名)

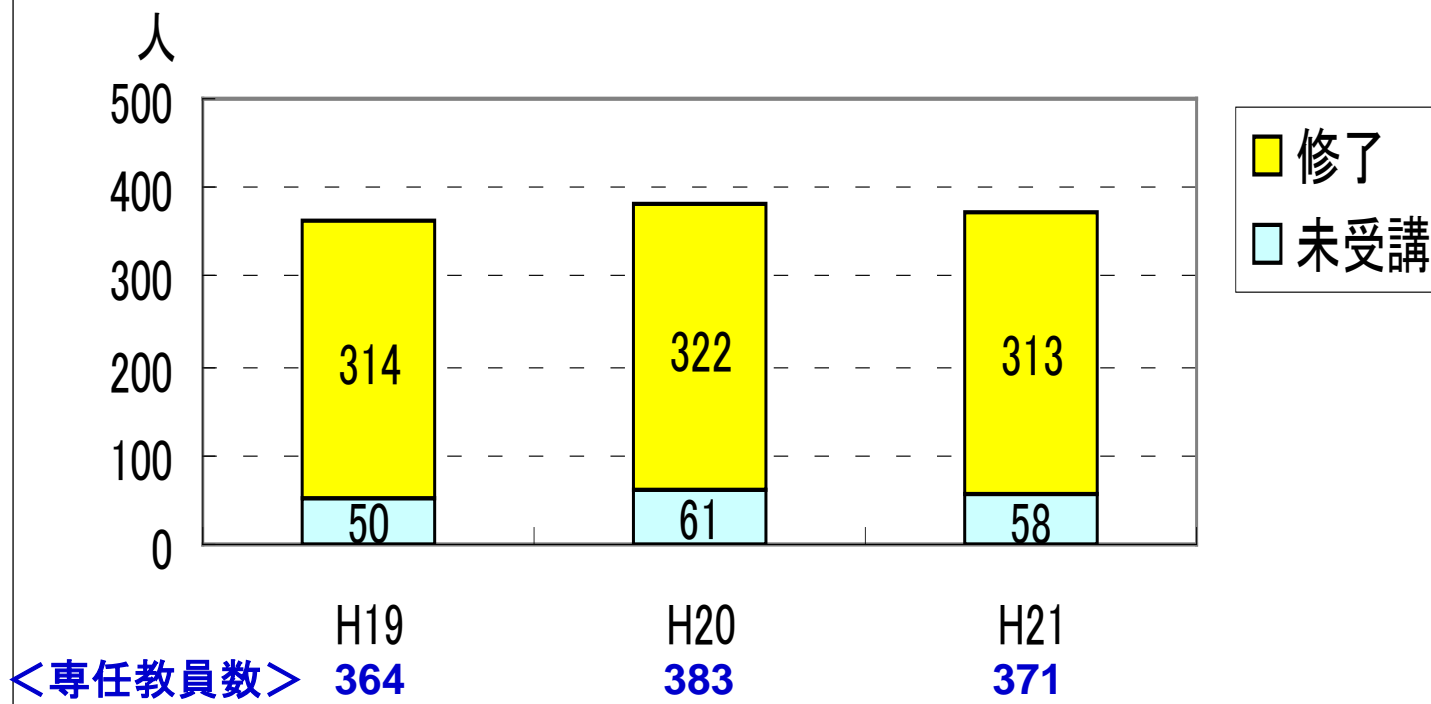
過去5年間(H16～20年度)の退職者調査 35校回答

県内看護師等養成所35校(45課程)の内訳

(平成21年4月) (単位:人)

	課程別 養成所数	専任 教員数	講習会 未受講者	大学で教育に 関する単位を 4単位取得
3年課程	14	145	18	32
2年課程 (通信含)	13	114	19	15
准看護師 課程	17	108	21	
助産師課程	1	4	0	0
計	45	371	58 (15.6%)	47 (12.7%)

専任教員の教員養成講習会受講状況

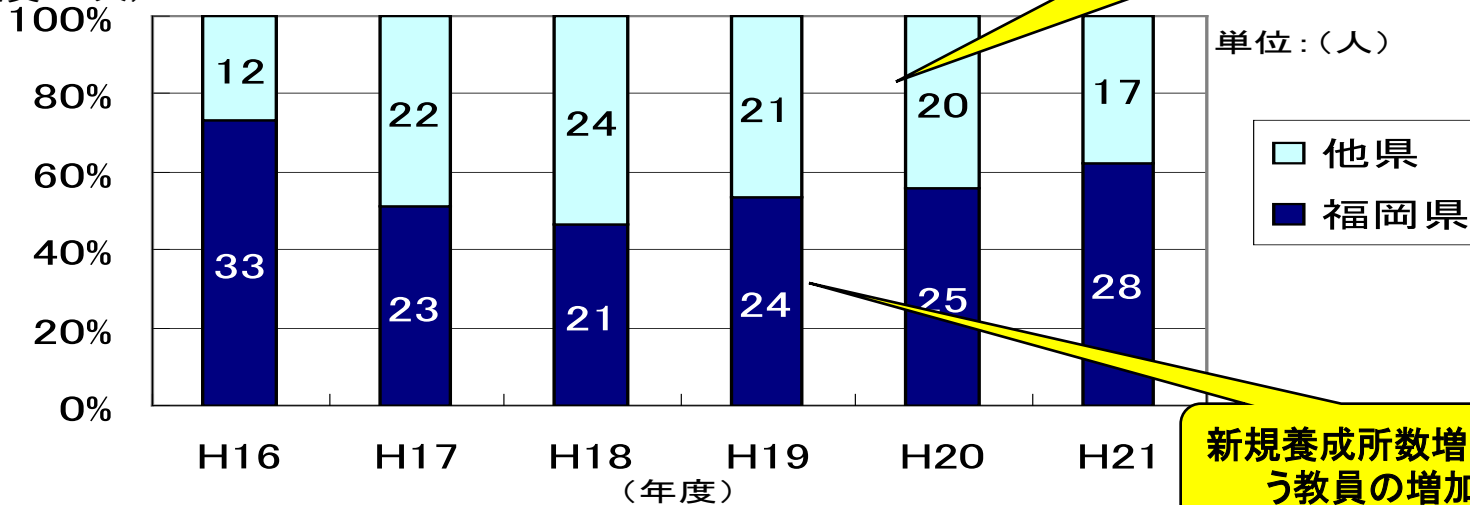


※未受講者は 13.7% ~ 15.9% で推移している。

(受講者の背景)
受講者所属施設の県別内訳数

約4割は県外

(定員 45人)

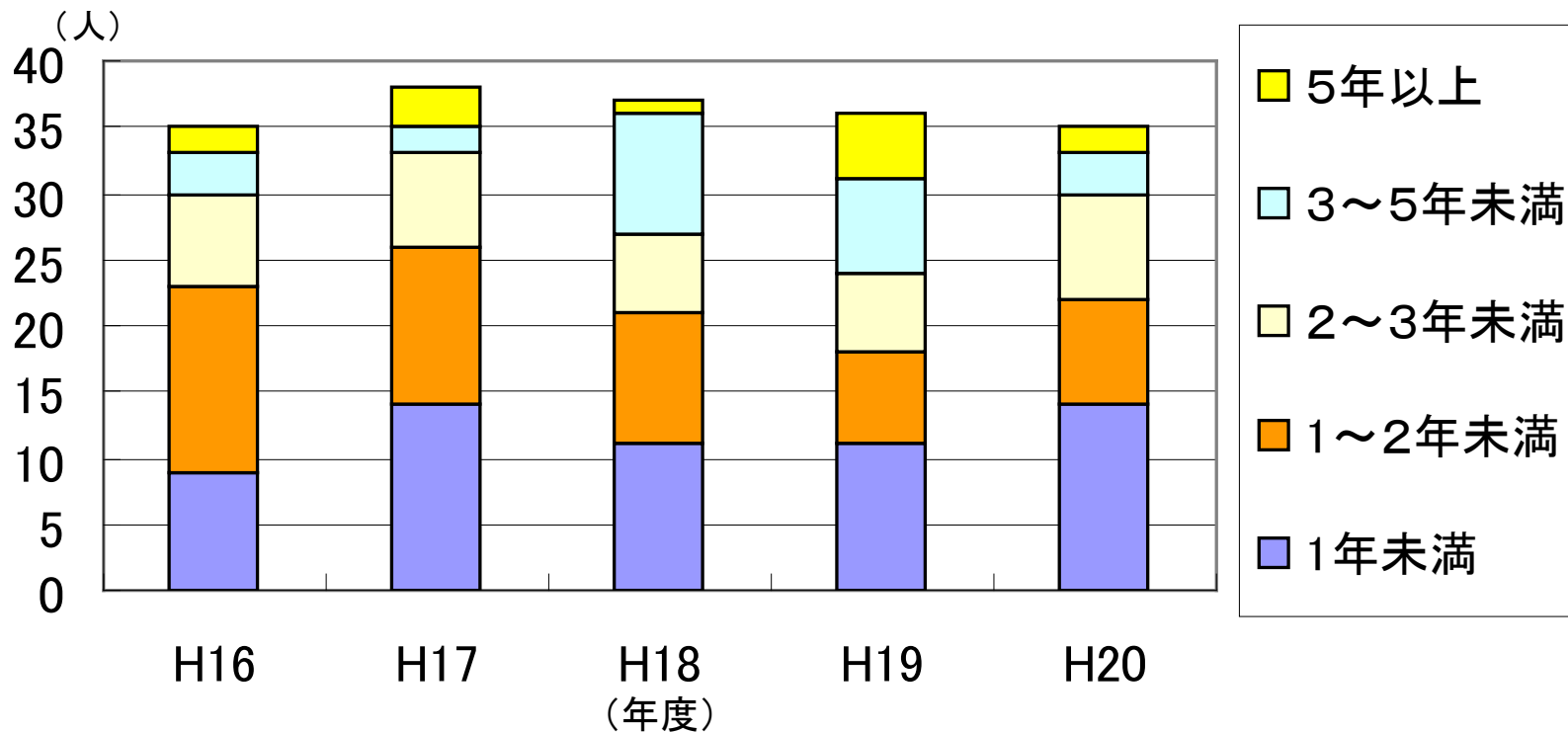


新規養成所数増に伴う教員の増加

他県の内訳

佐賀	2	4	5	6	7	4
長崎	2	3	4	4	3	講習会
熊本	2	3	3	3	4	3
大分	1	2	2	講習会	講習会	1
宮崎	1	2	4	2	0(大分へ)	4
鹿児島	3	3	4	3	4	3
沖縄	1	2	1	1	1	講習会
九州以外	0	3	1	2	1	2
合計	12	22	24	21	20	17

養成所からの受講者の背景 受講までの養成施設での教育従事年数



* 教員養成講習会未受講のまま3年以上教員として就労している者が養成所からの参加者の1～2割。教育の質の向上のため確実に受講できる体制を確保する必要がある。

現状と課題

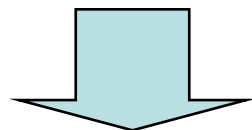
- ・専任教員の退職者が多く、講習会未受講者が減少しない。
- ・個々の看護経験や基礎学力等の差に応じた、より丁寧な教育内容及び個人指導の必要性がある。

①「自分自身の看護観」「看護教育課程の理解と看護教育方法の修得」に個人差が大きい。

②基礎となる文書力、読解力が不足(看護論レポート等)しており演習や教育実習の運営に講師が苦慮している。

- ・8ヶ月ではゆとりをもった十分な教育内容を確保することが困難である。
- ・長期研修やワークショップ等からメンタル面での問題が発生することがある。
- ・幹部看護教員養成課程修了者が少なく指導的立場の講師確保が困難である。

(看護教育方法演習等)



- ・看護経験等に応じた教育内容等の検討
- ・ゆとりのある教育期間の検討
- ・メンタルサポート対策の必要性
- ・評価のためのガイドラインの必要性

今後に期待すること

- 教員養成講習会のカリキュラム構築におけるサポート体制の確立
→ 県担当者を対象とした研修会の開催やコンサルテーションシステム
- 評価に対する考え方についてのサポートが欲しい